

CHARGE

2023
Winter
VOL. 98

TOP MESSAGE

自動車業界の進化に対応し、
半歩先の情報、商品を提供してまいります

新年あけましておめでとうございます。

2023年こそは新型コロナが終息に向かい、世界経済、そして自動車産業が良くなっていくことを期待しております。

2022年はコロナ、半導体不足、ウクライナ問題に加え、円安、原材料、資源の高騰等、

世界経済、そして自動車産業を減速させる要因が目立ちましたが、その厳しい事業環境下でも、

自動車業界は確実に歩みを進めました。

世界ではクルマのEV化が一段と進み、2022年は歴史的に「EVシフト元年」となるだろうことを感じさせられました。

日本国内の自動車整備事業は「事業変革」のスピード化と「EV化」対応の大潮流が見られ、

国内でも「EVシフト」が加速度的に進んで行くと思われます。

当社の活動テーマとしましては、昨年に引き続き、自動車業界の進化を見据え、お客様の半歩先に行く先見性を持つことだと考えております。

日本は根本的な問題（少子高齢化、人口減少等）が解決されているわけではないことから、長期的には厳しくなっていくことを想定しなければなりません。

根本的な問題を抱え続けている日本では今後「一発逆転」は起こりにくくなるでしょう。

そのことを考えると、大切なことは「できることに地道に取り組んでいくこと」だと考えております。

このような環境下、「第37回オートサービスショー2023」が4年ぶりに開催されます。

当社では自動車整備の安心・安全、効率・省力作業を実現するだけでなく、「事業変革」と「EV化」・「CO₂削減」対応をも踏まえた、情報、商品を提供することによって、お客様に喜んでいただき、必要とされる存在を目指してまいります。

今後ともご指導・ご鞭撻を賜り、ご期待に沿えるよう社員一丸となって取り組んでまいります。
本年も皆様の益々のご健勝ご活躍をお祈り申し上げます。



代表取締役社長
中谷 宗平



トヨタモビリティ釧路株式会社 喜多町店



ダイセイ整備株式会社

INDEX

02 > トヨタモビリティ釧路株式会社
喜多町店 小型

06 > ダイセイ整備株式会社 大型

08 > 新商品のご紹介



トヨタモビリティ釧路株式会社 喜多町店



●店舗情報
トヨタモビリティ釧路株式会社 喜多町店
北海道釧路市喜多町1-39
TEL：0154-24-2100
従業員数：19名(メカニック15名)

●今回お話を伺った方



代表取締役
社長
工藤 健雄 様



取締役
営業副本部長
菅原 浩美 様



営業本部
サービス担当責任者
池崎 正 様

道東ならではの地域特性に即した工夫を 数多く盛り込んだ最新鋭の旗艦店舗



釧路トヨペット株式会社とトヨタカローラ釧路株式会社が経営統合し、2022年7月1日付で誕生したトヨタモビリティ釧路株式会社。「トヨタモビリティ」を冠するディーラーは北海道内初で、新車販売拠点9店、中古車販売拠点3店を擁する、道東地区ディーラー屈指の規模を誇ります。

喜多町店は、JR根室本線・釧路駅にほど近い場所にあり、ショールームのほかサービス工場とBP工場も備える旗艦店舗となっています。1961年にオープンし約60年もの歴史を持つ同店は、ショールームとBP工場が2021年にリニューアルされ、サービス工場も2022年4月、以前は車両置き場だった約300平方メートルの隣接する敷地に新築オープンしました。

女性スタッフの声を積極的に採り入れて お客様が快適に過ごせるショールームへ一新

2021年に改修されたショールームは、新車購入を検討されるお客様はもちろんサービス入庫されたカーオーナーもより快適に過ごせる空間に生まれ変わりました。

ショールームはサービス工場と同様に奥行きが深い構造のため、キッズコーナーを中央に配置して、家族連れのお客様がどの席に座っても目が届きやすいよう配慮。授乳室を追加したほか、木の温もりを感じられるようコーディネートし、観葉植物を充実させることで、カフェテリアのような、お1人で来店されてもくつろげる落ち着いた空間としています。またサービスカウンターの下には、お客様が手荷物を置きやすい

よう棚を設けるなど、細部にまで工夫を凝らしています。そして納車スペースも追加されていますが、「納車セレモニーは特にお客様からも喜ばれている」(菅原取締役)と、特別感を演出。

このようにショールームを充実させた背景には、以前は工場側にあったサービス待合スペースがショールームに移設されたことに加え、「お客様にご来店いただき、できるだけ心地良い時間をご提供したい」(工藤社長)という想いもあるといいます。

また同社では、今後の人口減少やモビリティサービスの変化を見据えつつ、自然豊かな日本有数の景勝地であることを活かし、釧路公立大学と産学連携でのカーシェアリングにも取り組むなど、魅力ある地域づくりに貢献できる企業として、新たなチャレンジを推進しています。

営業担当者のココがポイント！

既存工場稼働中での工事で、旧工場の解体もあり、現場の皆様には不便な思いをさせた事も多々ありましたが、素晴らしい工場づくりに携わることができて嬉しく思います。リフト機器は作業に応じて整備出来る機器選定となっており、多様な車種にも対応できるストールです。完成検査ラインもシステム化による効率化を実現し、メカニックの方が安心して作業できる環境が整いました。今後もアフターフォロー含め、より良い関係を続けながらサポートしてまいります。

左：営業副本部長 菅原様
中央：営業本部 サービス担当責任者 池崎様
右：釧路営業所 所長 菊池



ショールーム



▲奥行きが深い構造のショールーム。キッズコーナーを中央に配置し、家族連れのお客様がどの席に座っても目が届きやすいよう配慮



▲小さなお子様連れのお客様も安心の授乳スペース



▲木材を多用してカフェテリアのような落ち着きを演出した待合スペース



▲エントランス横にある手作りのジオラマ



▲納車スペース前の屋外駐車スペースに設けられた 200V 普通充電スタンド



▲ショールームのリニューアルに伴い追加された納車スペースには排ガスがこもらないようダクトを設置



▲車両置き場だった約300㎡の隣接する敷地にオープンしたサービス工場

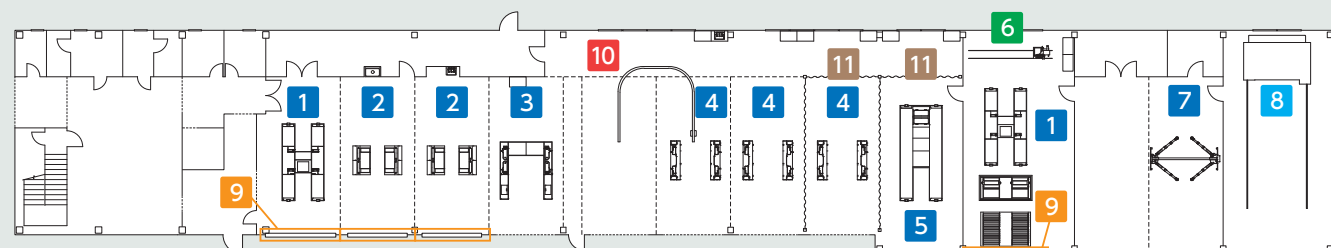


▲サービス工場2階のコミュニケーションルームは地域のお客様も活用できるフリースペースとして開放



▲降雪時に備えて除雪車を常設

→ 図面でわかる! ここがポイント! / 馬小屋式の構造で雪国ならではの整備にも幅広く対応!



クイック整備 ストール 重整備・一般整備ストール 大型車 整備ストール 完成検査ライン 洗車拭き上げストール 洗車ストール

- 1 マルチリフト (MUS40U)
- 2 アルネオリフト (NNZ30KAUBN)
- 3 アヴェンタスリフト (ASC32U)
- 4 アルネオリフト (WNNZ30WP)
- 5 フォーマルリフト (FL40UFCJ)
- 6 車検ライン
(ラインマスター+カラー画像処理方式手動ヘッドライトテスター
+ハイブリッドテスター+多軸フリーローラー)
- 7 門型リフト (移設)
- 8 門型洗車機 (NewT-X)
- 9 スピードシャッター
- 10 チェーンブロック
- 11 自動巻き上げロールカーテン



ページに
掲載中の機器は
左のQRコードより
カタログをご覧
いただけます

タイヤ履き替えから車検、エンジンオーバーホール、アンダーコート塗布まであらゆる整備に対応

新設のサービス工場は、限られたスペースの中で最大限の効率アップを図るべく、奥行きが深い敷地の形状を活かした「入出庫の効率が良い馬小屋式の構造」とし、総計13ストールと事務所が一列に整然と並んだ壮観な建屋となっています。

整備ストール内にはあらゆる車種と整備への対応力を高めたリフト機器を導入しました。ドライブオンタイプの“マルチリフト”と埋込式アームタイプ “アルネオリフト”はオイル・タイヤ交換などのクイック整備に。“アルネオリフト”の耐水仕様3基は重整備、パンタ式の“アヴェンタスリフト”1基は車重がある車両整備に、ドライブオンタイプの“フォーマルリフト”4トン仕様1基は小型トラック・バスの整備と、主に使い分けられています。

なお、“アルネオリフト”を耐水仕様とされたのは、冬場に重整備で長期間入庫する車両からは、ホイールハウスの奥から雪が溶けて染み出し、その水が床に落ちてリフトの耐久性に影響が少ないよう対策を講じたためです。

そのほか、整備ストールの中央には、リフトがない一方で天井にチェーンブロックが設置された平らなスペースが設けられており、「スタッドレスタイヤへの履き替えで入庫台数が多い秋にはタイヤ置場にしつつ、10万km以上走行する車両も多いのでエンジンなどのオーバーホールはここで行っています」と、池崎サービス担当責任者。

また、完成検査場に隣接する2つの整備ストールには、塩カリ対策のアンダーコート塗布時に塗料の飛散を防ぐための間仕切りロールカーテンを天井に設置するなど、カーオーナーの使用実態に合わせた工夫も盛り込まれました。

完成検査場にはトータル車検ラインシステム“ラインマスター”、4WD車向け“多軸フリーローラー”も設置されています。これらは、4WD車の保有台数が多い地域特性に対応するのはもちろん、コンプライアンスを徹底するということが、大きな狙いとしてあるといえます。

さらに、メカニックが快適に働けるための工夫では、メンテナンス性の高いオイルサーバーを導入し、未使用時はキャビネットの扉を閉めて収納でき、美観も確保。クイック整備中心の入口手前側3ストールと完成検査場の出入口に“スピードシャッター”を備えることで、冬場に冷気が入り込むのを極力防ぎ、暖房効果を高めています。また、門型洗車機には凍結予防のため床暖房を完備し、メカニックの負担を軽減するための環境が整っています。

「時代や自動車業界の変化に、走りながら対応していく。とにかくやってみる事が大事」と工藤社長が語るように、今後直面する課題にも『ポジティブ&チャレンジ』の理念で前向きに取り組む姿勢の同社。地域に愛される企業として、さらなる飛躍に期待が高まります。

整備工場



▲メカニックの意見を参考に、モノトーン配色を採用。天井が高く、広々とした工場内



▲クイック整備ストールと完成検査場の出入口はスピードシャッターを設置し、暖房効率をアップ



▲バリエーション豊富なリフト機器。“アルネオリフト”は耐水仕様やユニット別置きとし、メンテナンス性を重視



▲“アヴェンタスリフト”は北海道エリア初導入



▲中央の平ストール上部のチェーンブロック。エンジンのオーバーホールに活用



▲ドライブオンタイプの“フォーマルリフト”。アンダーコート塗布時の飛散防止で自動式の間仕切りロールカーテンを天井に設置



▲完成検査はシステム化によって効率化。4WD車用対応でフリーローラーの導入はマスト



▲洗車ストールは床暖房を完備



▲給廃油システムは耐久性の高いオイルサーバー式。キャビネットに収納可能



▲大径タイヤ増に重宝する“タイヤ搬送台車”がコロン



●店舗情報
ダイセー整備株式会社
愛知県一宮市萩原町高木字三ツ屋 2 番地
TEL : 0586-67-1020
従業員数 : 27 名(メカニック 22名)

●今回お話を伺った方



営業戦略事業部
部長
加藤 正浩 様

ユーザーレポート!



物流を止めないワンストップサービスをコンセプトに 24時間体制を目指す、安全・高生産型工場が完成

ダイセー整備株式会社は1975年のダイセー陸運株式会社の整備部門として設立され、以来約半世紀にわたり、ダイセーグループの企業として、地域社会の物流を支えてきました。2016年にはダイセーエクスプレスシステム株式会社から独立、現在に至っています。ダイセーグループの自家工場という立場ですが事業拡大により、今ではグループ以外からの入庫が増え、その割合は2022年に逆転、確かな技術と信頼性で成長を続けています。業績の拡大により、2022年8月には新工場をオープン。お客様である運送会社の物流の流れを出来る限り止めることなく、架装・車検・点検・整備をすべてワンストップで行うというコンセプトのもと、従業員の働きやすさと安全性、そして作業効率と生産性を両立する最新の大型整備工場が誕生しました。国道155号のロードサイドという好立地に加え、大きなキャノピー（ひさし）は、走行するクルマや新幹線の車窓からも目立ち、今や地域のランドマーク的存在です。また、最新の設備を擁する整備工場ということで、続々と若い整備士が入社しており、経営品質はますます高まっています。

安全と生産性を両立させ、24時間営業を計画

同社の強みは何といっても架装部門であり、これに車検を加えたワンストップのサービス体制で、グループ内外から高い評価を得てきました。その車検台数はここ数年で、年間100台のペースで増加しており、2022年は約900台を超える見込みで推移しています。そしていよいよ2023年には1,000台の大体を視野に入れ、将来的には1,500台まで伸ばしていくことが当面の目標です。現在の新工場でも、既に整備スToolの稼働はMAXに近い状態で推移していることから、2022年12月より3

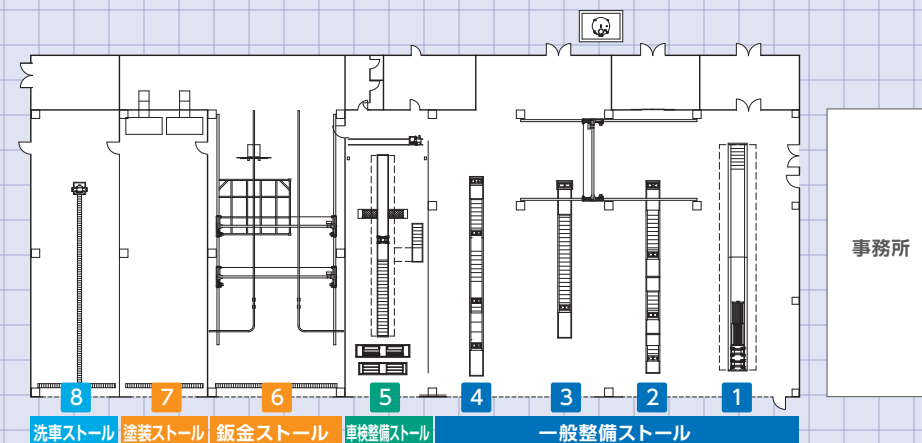
交代制シフトの試行がスタートしました。同社営業戦略事業部、加藤正浩部長は「いつでも受け入れができる体制を整えることで、お客様への利便性を高めていきたいです」との思いから、今後は少しずつ営業時間を伸ばし、いずれは24時間の稼働体制になる計画が進められています。

目標の車検の入庫を計画するうえで重要となるのが生産性です。今回、同社の検査ラインに“トータル車検システム ラインマスター”を導入、コンピューター管理となり、書類作成を自動化することで、生産性と効率性、そしてコンプライアンスの大幅な向上を図りました。「自動計算の可否判定もさることながら、ブレーキやサイドスリップも測定した瞬間に結果が分かるので助かっています。効率性は格段にあがりました」（加藤部長）

一方、「安全の面は特に重視した工場にしました」と加藤部長が話すように、ピットリフト内には“シャッター式落下防止装置”、フロアリフトには“転落防止装置”、そして架装スToolには、“エスコートレール”を導入するなど、整備士の安全性を優先的に引き上げました。また、整備スToolと車検スToolの間に腰壁を設置し、スTool間の区別だけでなく、スピード測定時に起こる石飛び防止機能にも寄与しています。

今回“大型車エーミングターゲットセット”も設備しており、ゆくゆくはエーミングのメニューも拡大していく方針です。大型車のワンストップ整備の可能性はますます広がっています。

図面でわかる! ここがポイント! 最新整備機器に加えて安全対策機器を納入し、働きやすい工場に



- 1 2分割フロアリフト×1基、スライド式落下防止装置×1基、天井走行クレーン×1基
- 2 4柱式ツインパワーリフト(TWPF602ND)×1基
- 3 2柱式ツインパワーリフト(TWPF30ND)×1基
- 4 4柱式ツインパワーリフト(TWPF601ND)×1基
- 5 完成検査ライン(ラインマスター+画像処理方式ヘッドライトテスター+BS テスター+フリーローラー+サイドスリップテスター)+電動シャッター式落下防止装置×1基
- 6 天井走行クレーン×2基、エスコートレール×4基、大型車エーミングターゲットセット×1基
- 7 排気装置×2基
- 8 洗車対応テストリフト(WTSL15)×1基

営業担当者のココがポイント!

4柱式ツインパワーリフトやフロアリフト、車検ラインシステムなど最先端機器を多数納入させていただき、効率的に作業できる環境整備に協力させていただきました。また、電動シャッター式ピット落下防止装置や、高所作業の安全を確保するエスコートレールも設置し、より安全に作業を行える環境作りにも力を入れました。今後も、より快適かつ安全に作業が行えるよう、引き続きフォローさせていただきたいと思います。



(左:営業戦略事業部 部長 加藤様、右:名古屋支店 野畑)



このページに掲載中の機器は左のQRコードよりカタログをご覧ください



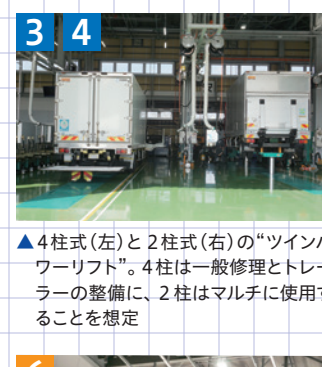
“トータル車検システム ラインマスター”を導入した完成検査場。落下防止装置は電動で開閉



前後で4m、3mを同時に作業する機会が多く、2分割フロアリフトはフル回転で活躍



作業が行いやすいようリールの配置を決定。エアコンも全てのスToolに設備



4柱式(左)と2柱式(右)の“ツインパワーリフト”。4柱は一般修理とトレーラーの整備に、2柱はマルチに使用することを想定



“ツインパワーリフト”は電動のスライドアーム仕様。一見さくむ必要がなく楽です。もうなくてはならない機能」と加藤部長



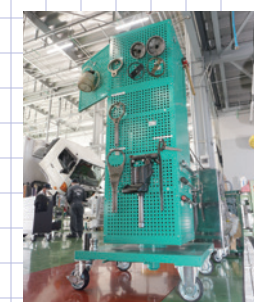
▲鋳金スTool。タワーを2基設備し、BPIにも対応。墜落を防止するため“エスコートレール”も導入



▲大型車エーミングターゲットセット“ATB・2021”を導入



立ち姿勢でホイールを脱着。タッテラ・Zでラック作業



“回転工具台車”を効果的に配置し、作業を効率化



新商品のご紹介

画像処理方式 手動ヘッドライトテスター

HLI-223

- 様々なランプの対応力を高め
測定精度が向上
- モニターサイズが大きくなり、
視認性・作業効率アップ

大型21.5インチモニター搭載

フォグランプ測定高さ25cmに対応

すれ違い
ビーム

Zビーム等の
配光パターン

HID、LED等
の光源

フォグランプ

※LEDはパルス制御方式含む



スクリーン方式 ヘッドライトテスター

HL-223S

- 受光部の奥行きをスリム化することで
後方の作業スペースを確保
- シンプル設計ながらも測定しやすい
機能が充実

フォグランプ測定高さ25cmに対応

すれ違い
ビーム

Zビーム等の
配光パターン

HID、LED等
の光源

フォグランプ

※LEDはパルス制御方式含む



電子車検証更新・読み取り専用 リーダー・ライター

M-1850S-NS



電子化についての詳細は
WEBサイトで紹介しています。
アクセスはこちら!!

2023年1月4日から
電子車検証が
スタート!



- 電子車検証のサイズに対応する専用機器
- 専用ホルダースタンドにより、風で紙が飛ばされるなどの
障害なく、効率的な作業が可能
- 電子車検証を上から差し込むだけで素早く通信可能

ANZEN
安全自動車株式会社

〒108-0023 東京都港区芝浦4-16-25
TEL(03) 5441-3412 FAX(03) 5441-8848
ANZENホームページ <https://www.anzen.co.jp>

札幌支店 札幌市中央区南19条西8-2-21
TEL(0154) 24-0161(代)
仙台支店 仙台市宮城野区日の出町2-2-8
TEL(019) 637-8711(代)
盛岡営業所 戸田市氷川町2-8-31
TEL(029) 241-0932(代)
関東支店 東京都港区芝浦4-16-25
TEL(025) 274-7131(代)
水戸営業所 東京都港区芝浦4-16-25
TEL(043) 284-2600(代)
新潟営業所 名古屋市中区金山5-12-3
TEL(076) 248-0499(代)
千葉営業所 大阪府西淀川区御幣島2-1-14
TEL(078) 265-0375(代)
名古屋支店 大阪府東区多摩の津3-7-7
TEL(082) 832-3630(代)
金沢営業所 福岡支店 南九州営業所
TEL(099) 246-0551(代)

TEL(011) 511-6241(代)
TEL(022) 236-1211(代)
山形営業所 TEL(024) 942-5311(代)
TEL(048) 447-6881(代)
郡山営業所 TEL(028) 635-8821(代)
宇都宮営業所 TEL(027) 384-3001(代)
高崎営業所 TEL(03) 5441-3413(代)
横浜営業所 TEL(045) 391-9913(代)
TEL(052) 871-1811(代)
静岡営業所 TEL(054) 236-5066(代)
TEL(06) 6472-0361(代)
岡山営業所 TEL(086) 434-0259(代)
高松営業所 TEL(087) 843-6531(代)
TEL(092) 623-4646(代)
沖縄営業所 TEL(098) 876-3873(代)
TEL(0263) 45-2181(代)

(株)松本安全 松本市大村383-11

保守点検のおすすめ

ANZEN製品を長くご利用いただくため、保守点検サービス(有料)のご利用をおすすめします。お近くの支店または営業所までお問い合わせください。

ANZEN
カスタマーサービス

0120-01-6361

当社の製品およびサービス、その他に関するお問い合わせは左記へ。(受付時間:月~金 AM9:00~PM5:00)

ANZEN で 検索
<https://www.anzen.co.jp>

●発行所/安全自動車株式会社 営業企画部 販促企画グループ 東京都港区芝浦4-16-25

●ANZEN NEWS CHARGE 98号 (2023年1月発行)

※外観・仕様は予告なく変更することがありますので、ご了承ください。

最新の業界情報をお届け! ▶▶▶

ANZENメルマガ会員募集中
詳しくは ANZEN ニュース で 検索



UD FONT